

里山だけど展望あるかも？

青梅丘陵

実施日 2013年12月21日(土)

天候 晴れ

リーダー 渋谷 京子

参加者 友近洋子、佐藤金治、一柳昭、伊東勝昭、涌井良明、山崎富美恵、白石恵美子、渋谷京子、遠井謙策、伊藤久雄、徳山敬子、小名秀鋭、佐藤政司、滝沢きよの 計14名

費用 670円(立川起算)

タイム 軍畑駅(10:00)榎峠登山口(10:27~10:32)雷電山(11:05~11:10)辛垣城跡(11:45~11:48)昼食(12:00~12:35)三方山(13:02~13:07)休(13:50~14:00)矢倉台(14:15~14:25)青梅駅(15:20)

この冬一番の寒波到来で、家の前の水たまりには氷が張っていた。前日迄の雨も上がり快晴の下、軍畑駅を出発。

駅前の看板に「今年9月29日高水山でツキノワグマの子熊出没」の目撃情報があった。注意せよと云ってもねえ、せいぜいおしゃべりに花を咲かせましょう！

吐く息も白く冷気に包まれた車道脇の草むらからは、お日様に温められ水蒸気(もや)が立ち上っている。凍りつく急坂を足もとに注意して30分程で榎峠登山口に着く。



衣服を整え、林道に入る。木段の急登が続く。杉林がしんと静かである。汗かきながら雷電山へ到着する。

樹木に囲まれ展望はあまり無い。小休止、写真後少し進むと道の両側は薄っすらと雪化粧していた。そこから急坂のアップダウンが容赦なく続く。辛垣(何と読むのか悩みました。カラカイですつて)城跡への分岐点に差し掛かる。左が城跡への急坂で10分程余分に掛かると記してある。



そちらに進むと目にも鮮やかな紫の実のついた木があった。「紫式部」だそう

で思わずシャッターを切る。やや荒れ気味の道を15分程行くと辛垣城跡の看板が目に入る。先ほどの道と合流し尾根道を一登りで南面が開けた台地に飛び出す。折しも丁度12時、お腹も空いてきたので昼食タイムとする。差し入れのお漬物やリンゴを美味しく頂きながら陽だまりの中、至福の時間を過ごす。



最近山でよく見かけるトレイルランナー、ここでも我々の側を風の如く駆け抜けて行った。トレーニングとはいえ見ている方が冷や冷やしてしまう。さて、そろそろ三方山の筈だが(地図のコースタイム1時間は何か変?)まだ先のような。更に30分程アップダウンを繰り返して漸く三方山に到着した。山頂とは名ばかりの狭さで木々に囲まれ展望はなかった。

写真を撮り矢倉台を目指す。北面が開けた一角に出る。一手前は奥武蔵の山々、左に連なるピラミダールな武甲山が一際目をひく。太陽の温もりを感じながら尚も冬枯れの落ち葉の道を行くと東屋の矢倉台に着く。眼下に日向和田市街が広がる。ここから青梅迄がハイキングコースとなるようだ。四ヶ所の休憩所と仮設トイレも設置してあり、ウォーキングをしている人も多く見かけた。



緩やかな坂道を下って行くと鉄道公園に突き当たる。右へS字カーブの車道を下りて青梅線のコンクリート橋を渡り、右折すると青梅駅に到着する。

丘陵、ハイキングコースと銘打ったものの、半分以上はアップダウンの連続で歩き応えがありましたね。

今年の締めの山歩きを楽しんで貰えましたでしょうか？

年末多忙の中参加されたメンバーの方々、大変お疲れ様でした！

(記・渋谷 京子)

(写真提供・涌井良明/伊藤久雄)